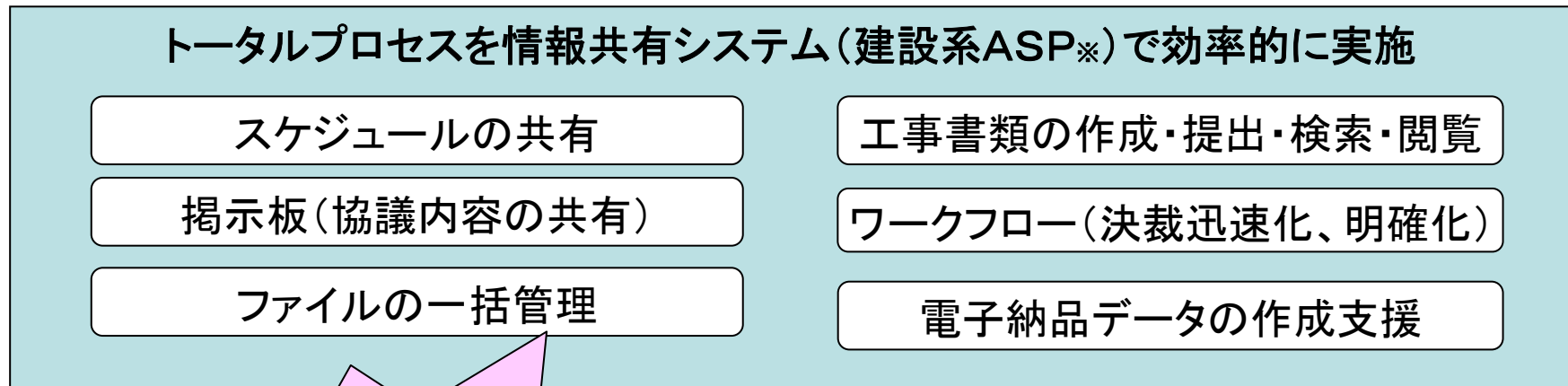
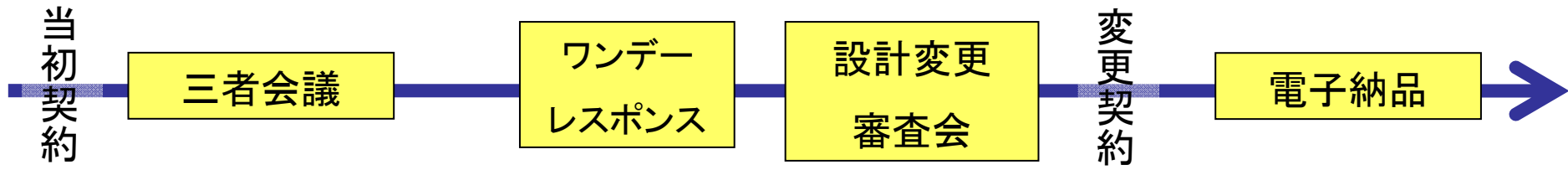


# 情報共有システムについて (情報提供)

平成21年2月27日  
国土交通省 中国地方整備局

# 公共工事総合プロセス支援システム（案）

発注者と受注者のコミュニケーション向上施策を  
建設業の生産性効率化につなげるための総合的な取組



- ・工事書類のやりとりの効率化
- ・意思決定過程の明確化
- ・電子納品の編集の円滑化
- ・新しい現場関係の再構築

※ アプリケーション・サービス・プロバイダ

公共工事の施工中における、スケジュールや工事書類管理共有機能、決裁機能(ワークフロー)、電子納品データの作成支援機能を備えたアプリケーションソフトをインターネットを通じて公共工事の受発注者にレンタルする事業者。

# (4) 今後のCALS/ECの方向性について

## ～AP2008（素案）の目標～

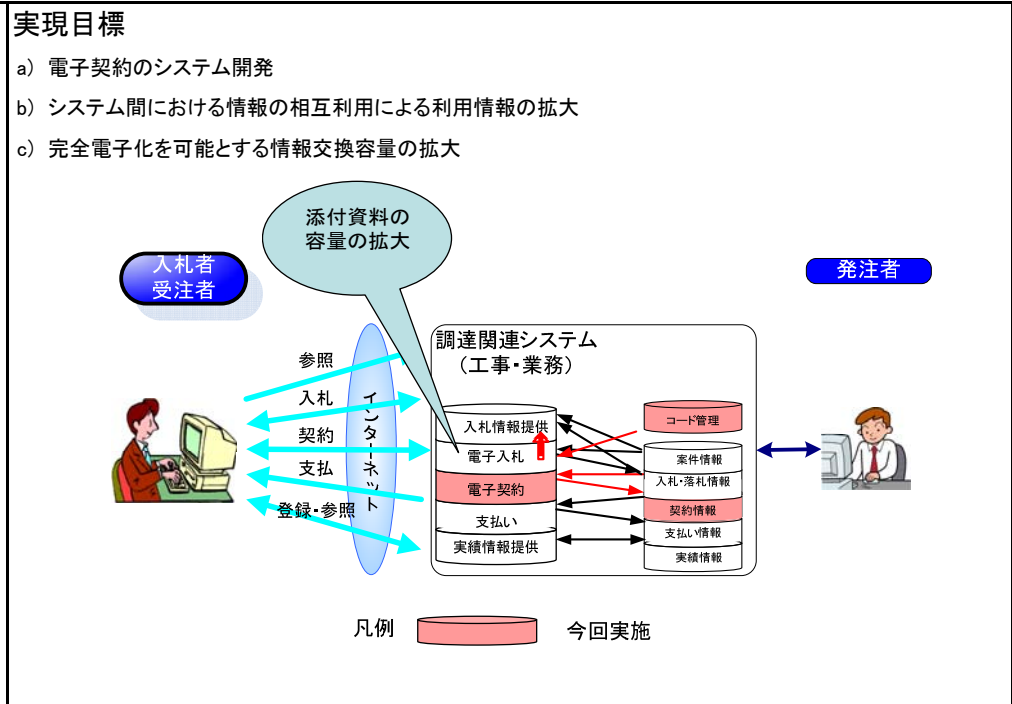
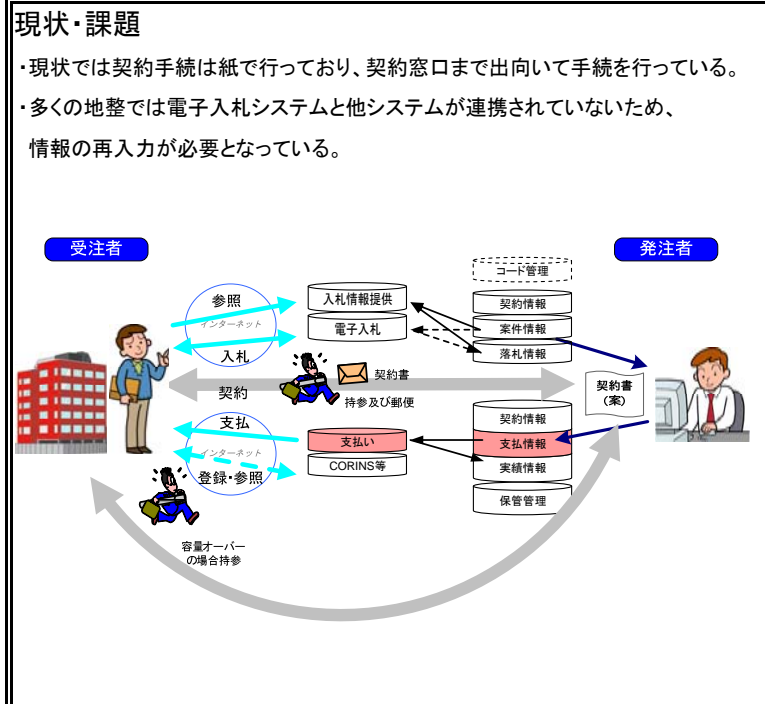
### 基本方針:

これまでのCALS/ECアクションプログラムの成果を踏まえ、工事生産性の向上（コスト削減、スピードアップ化）、維持管理の効率化、透明性の確保を図る観点から、次の6つの重点分野において、ICT技術を活用した建設生産システム（社会資本監理システム）を構築する。

目標-①	<p><b>入札契約書類の完全電子化による手続きの効率化</b>  入札契約手続き書類の完全電子化による手続きの効率化により一連の調達がすべてインターネット上で可能となる</p>
目標-②	<p><b>発注者・受注者間のコミュニケーションの円滑化</b>  情報共有システムの利活用により、発注者・受注者間のコミュニケーションの円滑化を図る。</p>
目標-③	<p><b>調査・計画・設計・施工・管理を通じて利用可能な電子データの利活用</b>  3次元データの利用により、工事の一層の品質向上とコスト縮減及びスピードアップ化を図るなど建設生産システムの生産性向上が可能となる(CADデータの利活用)</p>
目標-④	<p><b>工事の一層の品質向上を図る情報化施工の普及推進</b>  情報化施工により、工事の一層の品質向上とコスト縮減及びスピードアップ化を図るなど建設生産システムの生産性向上が可能となる(情報化施工)</p>
目標-⑤	<p><b>完全電子納品化に対応した品質検査技術の開発</b>  モバイルや情報共有システム等の必要なハードウェアの整備及びシステムの構築により工事成果の完全電子納品化、電子検査の実現、紙・電子の二重納品の解消</p>
目標-⑥	<p><b>CALS/ECの普及</b>  各種研修や資格制度の活用等を通じCALS/ECの普及を促進させて、直轄のCALS/ECリテラシー向上、自治体のCALS/EC普及率向上</p>

# 目標-①

<b>目標-① 入札契約書類の完全電子化による手続きの効率化</b> 入札契約書類の完全電子化による手続きの効率化により一連の調達がすべてインターネット上で可能となる						利用フェーズ	調達		
利用者	本省	本局	事務所	出張所	調査	設計	施工	利用業務	契約



実施項目	H20	H21	H22	H23～	行動計画の分類			
					システム開発・改良	機器調達	既存サービスの活用	
電子契約システム			システム開発(製造)	システム機器調達、試験	○	○		a
共通コード			コード管理用DBの開発 (電子契約システム内に構築)		○			ab
電子入札からの案件情報登録	データ連携改良設計	システム改良、 データ連携、運用			○			b
電子入札システムの容量拡大	詳細設計	機器調達	運用			○		c
入札ポンドの電子化	詳細設計	システム開発 実証実験	検証・改善	実現可能性の検討	○	○		b

新  
新

# 目標-②

<b>目標-② 発注者・受注者間のコミュニケーションの円滑化</b> 情報共有システムの利活用により、発注者・受注者間のコミュニケーションの円滑化を図る。						利用フェーズ	設計・施工
利用者	本省	本局	<b>事務所</b>	<b>出張所</b>	調査	設計	<b>施工</b>
						利用業務	調整、現場把握、書類管理、施工

**現状・課題**

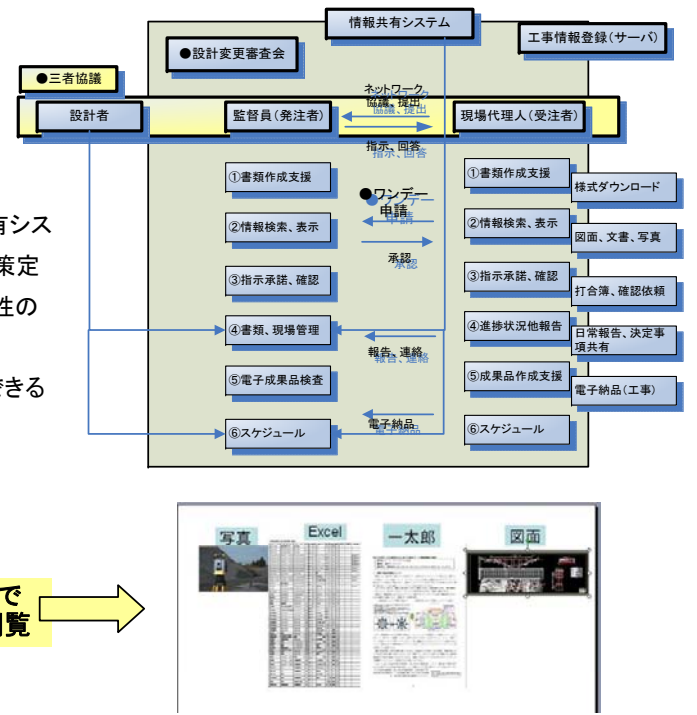
- 紙文書による書類の整理、関係者での共有がなされていない。
- 受発注者間のやりとり(打合せ、照会、協議等)に時間を要する。
- 随時には、現場の状況を確認できない。
- ファイル形式が様々な場合、データ確認に時間を要する。

複数ある添付ファイルが、一回の操作で開けない

**目標**

d) 円滑な情報共有化を図るアプリケーション・ソフトの導入  
(情報共有ASPの普及等)  
※平成20年度までに情報共有システム機能要件書(Rev2.0)策定

e) 電子データベースの閲覧性の向上  
(一度で関連ファイルを一覧できるソフトが必要)



	実施項目	H20	H21	H22	H23～	行動計画の分類			
						システム開発・改良	機器調達	既存サービスの活用	
新	情報共有システムの導入選定		発注者協議会で選定	運用	→			○	d
新	情報共有システムの改良によるワンデラスホス等の実施 民間システムとの連携	機能要件(Rev2.0)策定 既存ソフトとの整合確認	検証・試行 運用		→	(○)	(○)	○	d
新	電子データの閲覧性の向上		機能要件の検討	運用	→			○	e
	工事帳票管理システムの改善	帳票の見直し	帳票の見直し システム改良設計・改良	運用	→	○			d